

企業・団体



神戸市

事業

BI ツールを活用したデータ分析の内製化 ～神戸データラウンジ～

事業区分 「データ利活用」

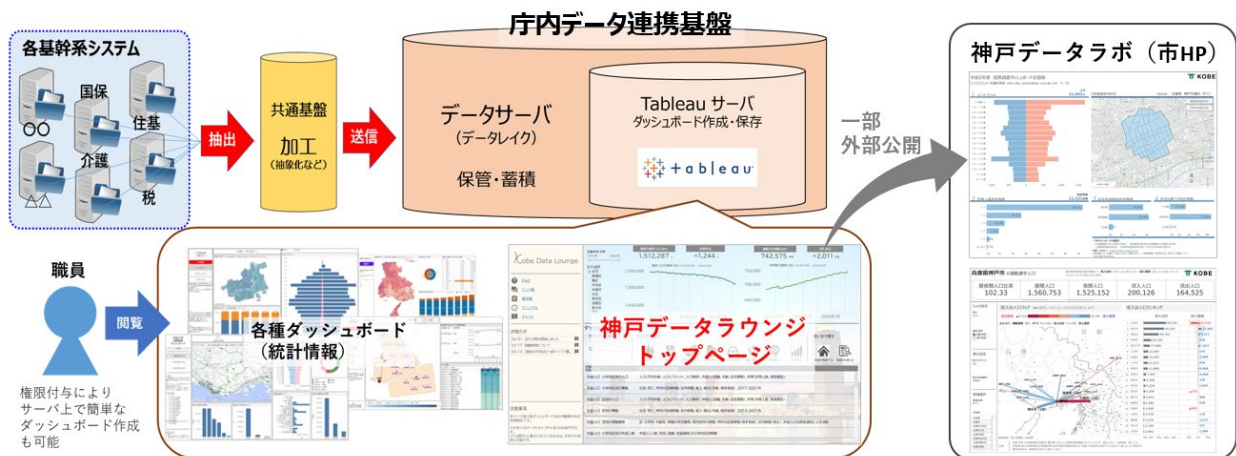
実施時期（又は期間） 令和4年6月から（ダッシュボードの全庁共有開始）

概要

蓄積したデータを、BI ツール等で分析、可視化し、元の生データを見せずに統計加工したダッシュボード等を全庁で安全に共有する仕組みを構築し、データに基づく政策形成を推進。

- ・分析に必要なデータを収集する庁内データ連携基盤の構築
- ・BI ツールを使ってダッシュボード作成を内製化
- ・庁内ポータルサイト「神戸データラウンジ」でダッシュボードを庁内共有
- ・ダッシュボードを使った市民への分かりやすい情報発信「神戸データラボ」
- ・データ利活用人材の育成

イメージ図



効果・成果

- ・データの扱いが不慣れな職員でも、政策立案の初期段階から、容易にデータに基づいた議論を行うことができるようになった。また、データの入手から資料作成までを圧縮し、本来すべき政策議論に時間がさけるようになった。
- ・データを蓄積し、安全に共有する仕組みができたことで、データの可視化や機械学習による業務改革がやりやすくなった。
- ・データ整備の重要性を意識するようになり、オープンデータの推進や働き方改革につながった。
- ・データの利活用や分析を内製化で推進しようとする機運が高まり、他局でもBI ツールを使った分析が広がっている。加えて、自所属所有のデータの提供が進む等の効果も出始めている。

担当部署

神戸市企画調整局政策課データ利活用担当（兵庫県神戸市中央区加納町6-5-1）

担当者：松尾 康弘 Tel：078-322-5162 e-mail：kikaku-data@office.city.kobe.lg.jp

URL：<https://www.city.kobe.lg.jp/>